

5-1 | 段階的な展開戦術

5-2 | 短期アクションのシナリオ

5-3 | わたしたちが目指す体制

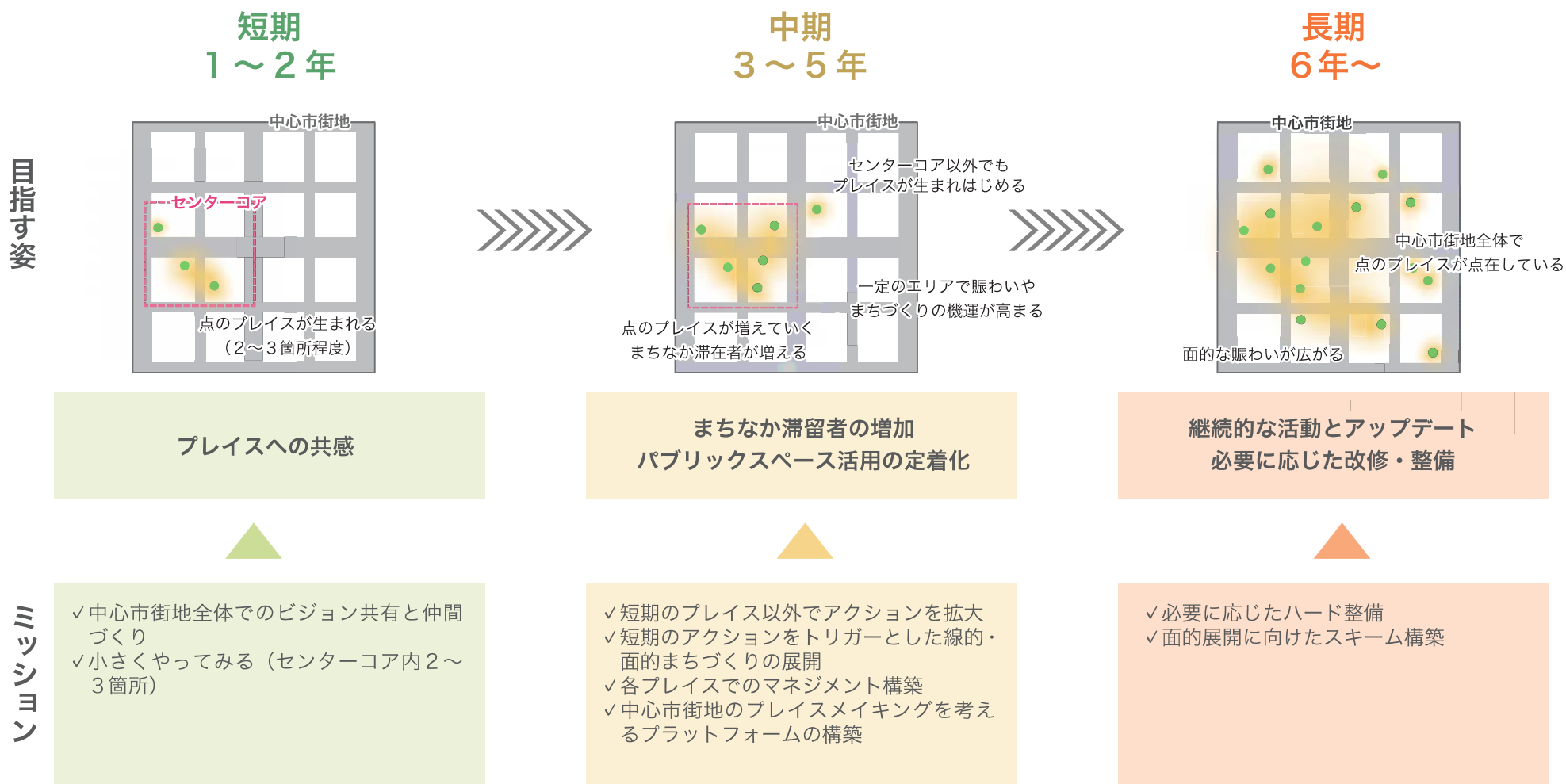
第6章 アクション・プラン - 実現に向けて -

ACTION PLAN

6-1 | 段階的な展開戦術

01... 段階的な展開イメージ (各フェースで目指す姿とミッション)

ビジョンの実現に向けては、段階的なステップを踏みながら空間を創出し、アクティビティの誘発につなげていくとともに、それを支えるマネジメントのあり方を検討することで、地域に根ざした持続的取組へと育てていきます。



02 短期アクションの取組方針

1 ビジョン共有と仲間づくり

中心市街地で活動する多くの人にプレイス・ビジョンを共有し、まち全体でプレイスメイキングの機運を高めていきます。

また、各プレイスの管理者や周辺で商いをする人などの関係者に対しては、アクション・プログラムの実現可能性についてサウンディング調査を行うとともに、各プレイヤーがどんな関わり方ができるかについても話を聞いていくことで、実証実験の進め方や将来的な運営体制のありかについても具体化していきます。

POINT 1

定期的なオープンカイギでビジョンを育てていく

プレイス・ビジョンは一度つくったら終わりではなく、まちのニーズや時代の潮流に併せて常にアップデートしていくことが重要です。

ビジョン作成後も、まちで生活するひとがどんなニーズを持っているのかを把握していくために、プレミカイギ等を活用して定期的にオープンカイギを企画していきます。



POINT 2

関わりしるを増やす

プレイスメイキングを定着していくには、中心市街地で暮らす人、事業を行う人、学びに来る人など様々なひとたちの関わりが欠かせません。

プロジェクトの推進にあたっては、コアメンバーだけでなく、実証実験の出店や運営サポートなど関りしるを増やして様々な人がそれぞれのスタイルにあった参加を実現していきます。



2 小さくやってみる

短期アクションでは、小さくはじめてみることで、掲げたビジョンが地域のニーズや長期的な展開にむけた方向性と合ったものになっているか、どんなマネジメント（体制・仕組み）でやっていくのが望ましいかを検証していきます。

また、実際にまちなかでやってみることは、市民の多くの人に活動自体を周知することにもつながるため、仲間づくりやまちとしての機運づくりにもつなげていきます。

POINT 1

LQC でやってみる

短期アクションでは、はじめからお金をかけて大きな改善をするのではなく、LQC(手軽に Lighter、速く Quicker、安く Cheaper) でやっていくことで、小さなアクションを繰り返し、まちのニーズをくみ取りながら反復的に取組を重ね、可能性を広げていくことがポイントです。

社会の変化に対応しながら少しずつ段階的に育てていくことで、必要な整備につなげていきます。



POINT 2

実効性が高く、効果が見えやすい場所を選ぶ

短期アクションでは、多くの市民と将来のシーンを共有し、プレイスメイキングの機運を高めていくことが大切であるため、ステークホルダーとの調整の進めやすさや法的なハードルの低さなど、実効性が高い場所や、多くの市民が訪れるなど効果を得られやすい場所を選定していくことがポイントとなります。



6-2 | 短期アクションのシナリオ

01 短期アクションの対象地

6つのプレイスについて、場所ごとの管理手法やこれまでの活動経緯を踏まえると、以下3つのパターンに整理することができます。プレミヤでは、それぞれの活動や管理運営手法の実態等を踏まえ、まずは**まちかど広場**と**中央児童公園**を対象に短期アクションを進めていきます。

なお、残りの4箇所については、既存の取組や活用実態を踏まえ、どのような取組を進めていくのが望ましいかを関係者と話し合いながら、アクションの方向性を具体化していきます。

バンバひろば オリオンスクエア

指定管理者により管理・運営がなされているプレイス。場所貸し業務により、イベント中心の活用がされています。



指定管理者と連携を図りながら、日常的な利用のニーズを検証、試行していきます。

東武馬車道通り 釜川ふれあい広場

既に社会実験等を重ねながら官民連携による公共空間活用の検討が進められているプレイス。それぞれ周辺の商店会や関係団体、市の協働により、活用のあり方を検討中です。



これまでの取組を尊重しながら、プレイス・ビジョンとの整合を図り、恒久的なあり方を検討していきます。

まちかどひろば 中央児童公園

日常的な活用はほとんどされていないプレイス。周辺の事業者や地縁コミュニティ等との連携により、新しい使い方が期待されます。



プレイスメイキングを先行的に実証していく場として積極的に活用していきます。

02. 短期アクション・ストーリー

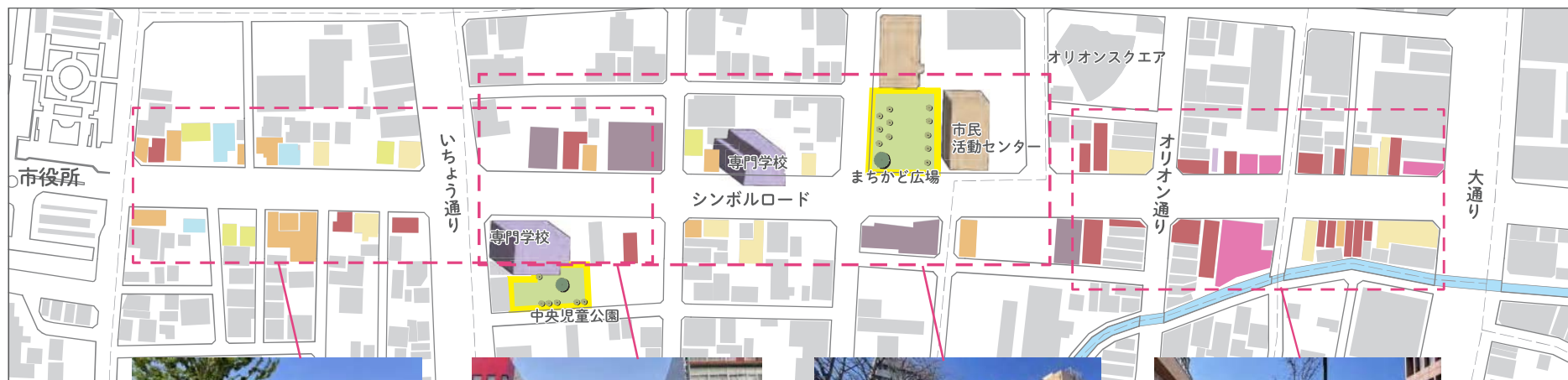
まちかど広場はシンボルロード沿いに、中央児童公園もシンボルロード沿いのコインパーキングに隣接しており、沿道からのアクセス性に優れた立地です。この2か所でプレイスメイキングをはじめると、まずは点の賑わいや交流を生んでいき、シンボルロードとしてプレイスメイキングの機運を高め、2つの点の盛り上がりを沿道にも波及させることで、軸としてのブランディングを強化、滞在者の増加による魅力あるストリートへと発展させていきます。

シンボルロードが目指す姿

それぞれの活発なコミュニティが、新しい交流を生むシンボルロード

シンボルロード沿道の現況

シンボルロードは、幅員 20mの道路でそれぞれ5～6m程度の歩行空間が確保されています。歩行空間は、御影石のブロック舗装となっており、特に市役所からいちよう通りの区間は、街路樹にいちようが植えられ緑ゆたかな空間となっています。沿道には公共施設、学校、飲食店などが立地しており、場所により異なる顔を持っています。



個人店型の飲食店や菓子屋が点在



中央児童公園のシンボルツリーとポップな沿道



専門学校や公共施設が多く立地



夜型営業の飲食店や娯楽施設が集積

04 短期アクションの体制

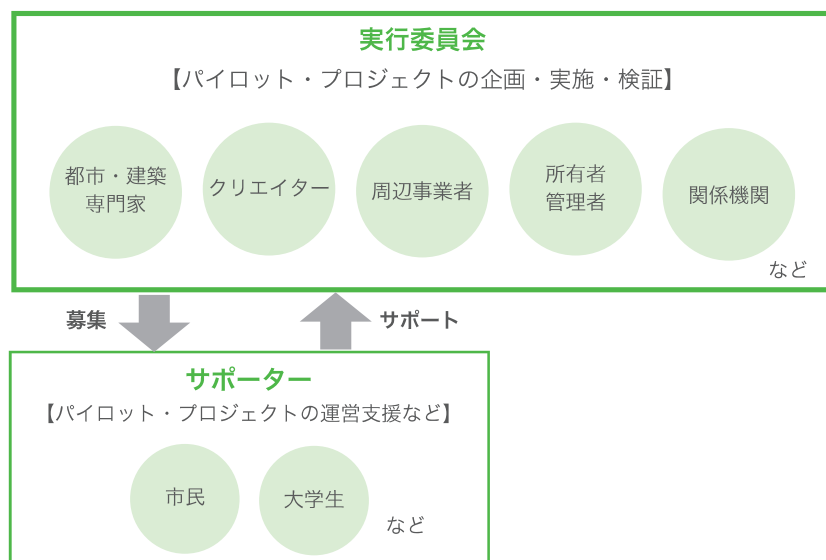
短期アクションの実行にあたっては、そのプレイスの関係者をはじめ、様々なプレイヤーと一緒に進めていくことが望ましいですが、プレイスにより関係者層やこれまでの実績が異なるため、検討のフェースやその場所の性格にあった体制で進めていく必要があります。

以下では、短期アクションの体制案として2つの形式を整理します。

1 実行委員会形式

各プレイスの権利者・管理者、デザイナー、プログラムのプレイヤー（周辺事業者等）などパイロット・プロジェクトに関わる関係者で構成する実行委員会形式です。

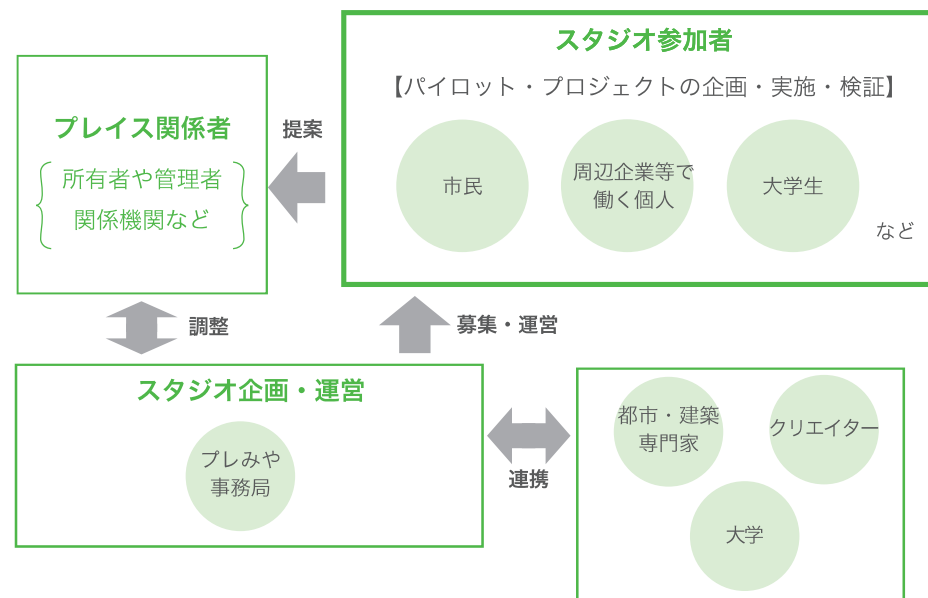
短期アクションのための時限的組織ではありますが、多様なステークホルダーが一緒になって計画からフィードバックの一連のアクションをすることで、将来的なマネジメントのあり方も検証しながら進めることができます。



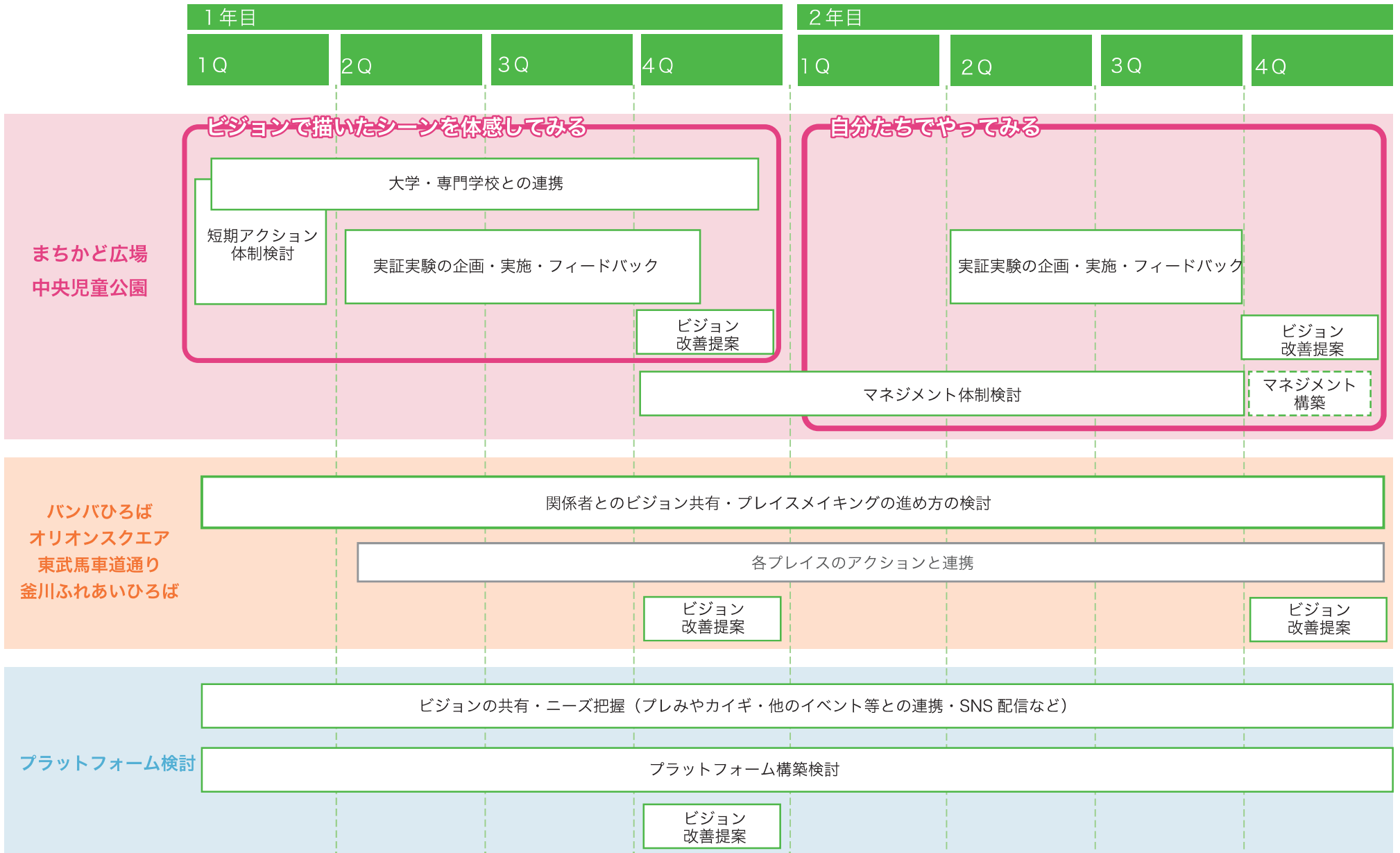
2 スタジオ形式

プレイスメイキングに関心のある市民や学生等を公募し、短期アクションの企画から実践フィードバックまでの一連の流れを学びながら行う人材育成型のスタジオ形式です。

この形式は、プレイヤーの顔が見えづらい場合、即戦力として動かしていくのに有効で新たな人材の発掘にもつなげることができますが、並行してプレイスの関係者や周辺の事業者と十分に対話を重ねることが重要となってきます。



03 短期アクションプロセス

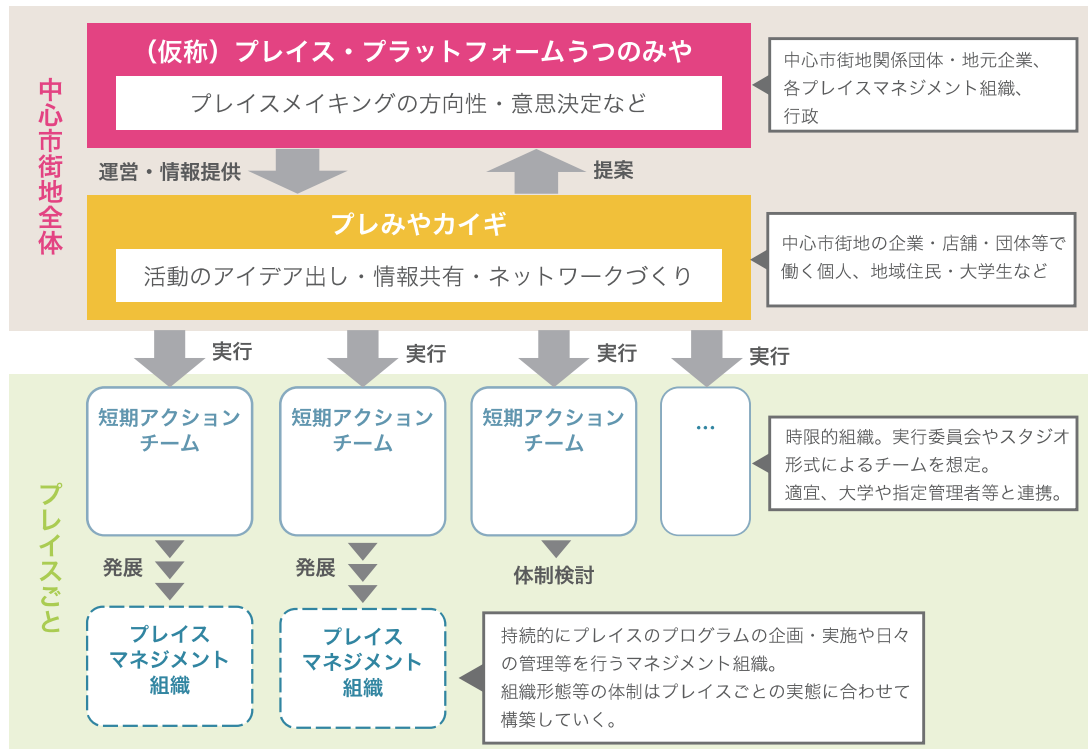


6-3 | 私たちが目指す体制

本ビジョンの実現に向けては、中心市街地で暮らす人、事業を行う人、学びに来る人など様々なひとたちが主体となり関わっていくことが欠かせません。また、それぞれのアクションがビジョンと同じ方向を向いたものになっているか、ビジョンが社会状況にあった内容になっているかなど、節目節目でビジョンを見直しながら活動を進めていくことが大切です。

そのため、各プレイスの情報共有や連携、必要に応じたビジョンのアップデートなど、中心市街地のプレイスメイキングを考えるプラットフォームを構築していきます。

なお、プレイスごとのマネジメントは、各プレイスでのアクションの動きやすさを優先に、個々の実態に合わせた体制を構築していきます。



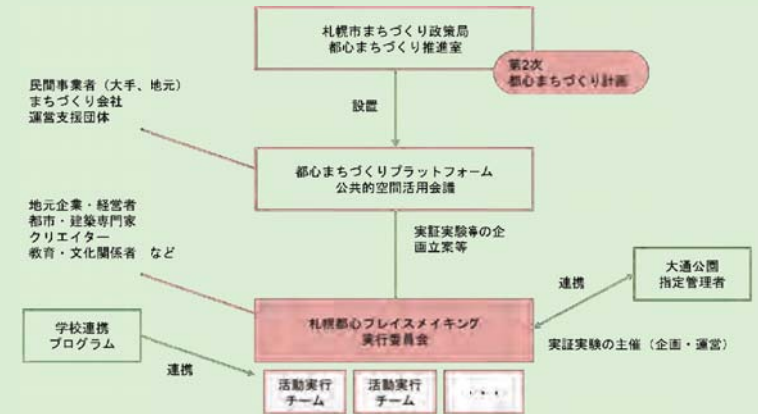
Case

札幌市都心まちづくりプラットフォーム





札幌市では、都心エリアにおいて各関係主体が連携・協力し、一体となって取り組むための仕組みとして「都心まちづくりプラットフォーム」を立ち上げまちづくりを推進しています。

「都心まちづくりプラットフォーム」は、都心で活躍する多様な方々が集まり、これからの都心や社会に必要な活動（プロジェクト）を生み出す場で、都心のまちづくりについての「議論・情報共有」、都心の活力創造につながる「プロジェクト検討・組成」、都心に関する「情報収集・発信」を行っています。

実際のアクションに際しては、都心まちづくりプラットフォームに参加しているメンバーを中心に実行委員会を立ち上げるとともに、高校と連携して学生が自分たちのやりたいことを企画・実践するといったスキームを構築し、若い世代を巻き込みながら実践を重ねています。



もっと詳しく知りたい

-   プレイスマイキング ツアー in 札幌
～視察と実践者取材でわかった札幌のプレイスマイキング～
-   海外と日本の視察ツアーから見るこれからのプレイスマイキング
《Session1》レポート